

安全データシート

製品名：生石灰

1. 化学品等及び会社情報

化学品等の名称	酸化カルシウム
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部署	耕種資材部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F
電話番号	03-6271-8285
Fax 番号	03-5218-2536
電子メールアドレス	zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡電話番号	03-6271-8285

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	-
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び刺激性 区分 2 眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性 区分 1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1 (呼吸器) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1 (呼吸器)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性) - 水生環境有害性 長期(慢性) -

注) 上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の 1.1 項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	皮膚刺激 重篤な眼の損傷 呼吸器の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き

安全対策	取り扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。 この製品を使用するときに、飲食をしないこと。
------	---

応急措置	皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。 気分が悪いときは医師の診断、手当てを受けること。
保管	施錠できる場合は施錠して保管することが望ましい。 禁水。 直射日光を避けて保管する。
廃棄	内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。
他の危険有害性	情報なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	酸化カルシウム(Calcium Oxide)
別名	生石灰
濃度又は濃度範囲	80%以上
分子式	CaO
CAS 番号	1305-78-8
官報公示整理番号(化審法)	(1)-189
官報公示整理番号(安衛法)	データなし
分類に寄与する不純物 及び安定化添加物	情報なし

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	多量の水と石けんで洗うこと。 症状が続く場合には医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 症状が続く場合には医師に連絡すること。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が続く場合には医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。
急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	周辺の状況や火災の状況に応じて粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。 水を消火剤として使用する場合は注意が必要。 「10. 安定性及び反応性」の項を参照。
使ってはならない消火剤	火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。
特有の危険有害性	-
特有の消火方法	消火活動は風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。
<hr/>	
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。
封じ込め及び浄化の 方法及び機材	飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散を減らし、空容器等に回収する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 生石灰スラリー浄化は上記措置の他、乾燥した土や砂で吸収または覆って回収する。
<hr/>	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食をしないこと。 粉じんを発生させないようにする。
接触回避 衛生対策	「10. 安定性及び反応性」の項を参照。 情報なし。
保管	
安全な保管条件	直射日光及び水との接触を避けて保管する。
安全な容器包装材料	破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。
<hr/>	
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定
許容濃度	厚生労働省 8時間濃度基準値 0.2 mg/m ³ 短時間濃度基準値 未設定 (2025年10月1日より施行) 日本産衛学会(2016年度版) 未設定 ACGIH(2016年度版) TLV-TWA 2mg/m ³ (酸化カルシウム)
設備対策	粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

保護具

呼吸器の保護具	粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。
眼の保護具	眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡、保護ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	固体(20℃、1気圧)(GHS判定)
色	白色～灰色(Merck(15th, 2013))
臭い	無臭(HSDB(2016))
臭いのしきい(閾)値	情報なし
pH	12.4(25℃飽和水溶):Merck(13th, 2001)
融点・凝固点	2, 572℃(Merck(15th, 2013))
沸点、初留点及び沸騰範囲	2, 850℃(NFPA(13th, 2002))
引火点	情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	情報なし
燃焼性(固体、気体)	不燃性(ICSC(1997))
燃焼又は爆発範囲	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重(密度)	3.32～3.35(Merck(15th, 2013))
溶解度	水：水に溶け水酸化カルシウムを生成し、大量の熱を発生する(HSDB(2016))
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
自然発火温度	不燃性(ICSC(1997))
分解温度	情報なし
粘度(粘性率)	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱い条件下では安定である。
化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	水溶液は中程度の強さの塩基である。水と反応し、可燃物を発火させるのに十分な熱を発生する。 酸、ハロゲンと激しく反応する。
避けるべき条件	直射日光及び水との接触を避けて保管する。
混触危険物質	酸化剤、還元剤等
危険有害な分解生成物	-

11. 有害性情報

急性毒性

経口	GHS分類：区分外 ラットのLD ₅₀ 値として、5,000 mg/kg、5,916 mg/kg
----	--

（食品安全委員会添加物評価書(2013)）の報告に基づき
区分外(国連分類基準の区分5)とした。

経皮	GHS 分類：分類できない データ不足のため分類できない。
吸入：ガス	GHS 分類：分類対象外 GHS の定義における固体である。
吸入：蒸気	GHS 分類：分類対象外 GHS の定義における固体である。
吸入：粉じん及びミスト	GHS 分類：分類できない データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性	GHS 分類：区分2 湿った皮膚に対して強い刺激性を示すとの記載(ACGIH(7th, 2001)) から区分2とした。なお、国連危険物輸送勧告においてクラス8と されている。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	GHS 分類：区分1 粒子状酸化カルシウムが眼に重度のやけどを引き起こす可能性が あるとの記載(ACGIH(7th, 2001))から、区分1とした。
呼吸器感作性	GHS 分類：分類できない データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	GHS 分類：分類できない データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	GHS 分類：分類できない データ不足のため分類できない。すなわち、in vivo のデータは なく、in vitro では細菌の復帰突然変異試験で陰性である (食品安全委員会添加物評価書(2013))。
発がん性	GHS 分類：分類できない データ不足のため分類できない。
生殖毒性	GHS 分類：分類できない データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	GHS 分類：区分1(呼吸器) 本物質は水と反応して水酸化カルシウムを生じる。 ヒトでは大量の水酸化カルシウムの短時間ばく露により肺水腫と ショックを起こすとの記載がある(PATTY(4th, 1993))。 以上より区分1(呼吸器)とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	GHS 分類：区分1(呼吸器) ヒトにおいて、生石灰の吸入による呼吸経路の炎症、鼻中隔の 潰瘍及び穿孔の報告がある(ACGIH(7th, 2001))。 以上より区分1(呼吸器)とした。
吸引性呼吸器有害性	GHS 分類：分類できない データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)	魚類(コイ)の96時間LC ₅₀ =1,070mg/L(IUCLID、2000)から、区分外とした。
水生環境有害性(長期間)	難水溶性でなく(水溶解度=1,200 mg/L(HSDB、2004))、急性毒性が低いことから、区分外とした。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、分類実施中の12項の環境影響情報とに、基づく修正の必要がある。

国際規制

国連番号	1910
国連品名	Calcium Oxide
国連危険有害性クラス	8
副次危険	非該当
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み	非該当
輸送される液体物質	

国内規制

海上規制情報	船舶安全法の以下の規則に従う 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空規制情報	航空法の以下の規則に従う 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
陸上規制情報	消防法の以下の規則に従う 貯蔵等の届出を要する物質(法第9条の3・危険物令第1条の10)
特別な安全対策	- 消防法の規定により500kg以上の取り扱い・保管において届け出が必要になるが、危険物としては設定されておらずイエローカード保持の対象物外。
その他(一般的)注意	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れの

ないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号 157

- * 北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「2008 Emergency Response Guidebook (ERG 2008)」(一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている(発行元：日本規格協会)に掲載されている。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物 (法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9) 名称等を通知すべき危険有害物 (法第 57 条の 2、施行令 18 条の 2 別表 9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第 57 条の 3)
船舶安全法	腐食性物質(危規則第 3 条危険物告示別表第 1)
航空法	腐食性物質(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)
消防法	貯蔵等の届出を要する物質(法第 9 条の 3・危険物令第 1 条の 10) CaO 80%以上を 500kg 保管する場合

16. その他

- ※ この製品安全データシートは職場のあんぜんサイトや各種の文献などに基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱には十分に注意して下さい。
また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

参考文献 各データ毎に記載した。

本 SDS は、下記吉澤石灰工業株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	吉澤石灰工業株式会社
住所	栃木県佐野市宮下町 7-10
電話番号	0283-84-1117
ファックス番号	0283-84-1127